

開催地名：京都府城陽市	
開催日時	令和4年11月7日（月） 10：40 ～ 12：15
開催場所	城陽市立寺田南小学校
語り部	菊池 のどか （岩手県釜石市）
参加者	4年生児童 68名
開催経緯	<p>児童は、避難訓練等で自然災害が人々の生活に大きな影響を及ぼすことを学習するほかに、4年生は社会科の学習で水害について学び、さらに5年生では地震について学ぶことで、防災対策や災害の現状や災害対策等を学習する。机上での学習では、自然災害を身近なものとして捉えるには限界もあり、自然災害が自分たちの身近な問題と捉え、自分たちの命を自分で守れる実践力をつけていけるようにしていくことが課題となっている。本事業で語り部からお話を聞くことで、自然災害に対する見識を広め、防災意識の向上を図りたい。</p>
内容	<p>（１） はじめに</p> <p>私は、岩手県の南部、太平洋側にある釜石市という所に住んでいる。今から11年前、私が中学3年生で卒業式が間近だった3月に、東日本大震災という大きな災害が東北地方を中心に発生した。太平洋に面した海岸沿いには大きな津波が押し寄せ、多くの人々が亡くなったり、行方不明となった。今日はこの時のことを皆さんにお話したい。</p> <p>（２） 東日本大震災当日</p> <p>2011年3月11日の午後2時46分、東北地方で大きな地震が発生した。大きな揺れが約3分間続き、その後、東北地方の太平洋側に津波が押し寄せた。釜石市には最大11メートルの津波が、合計18回も繰り返して来た。津波が来た後で、釜石市の隣町では火災が発生し、被害はさらに拡大してしまった。</p> <p>私は卒業式の歌の練習のため、友達と一緒に中学校の校舎内にいた。揺れが収まると、サッカー部や野球部の生徒が校庭から走り出すのが見えた。避難訓練であれば最初からまず点呼を取るのだが、その時は先生が「点呼を取っている場合じゃない、逃げろ」と叫んだので、私たちも高台に向けて走り出した。小学生も中学生に遅れて走ってきた。やむを得ず車で避難しなければならない人たちもいたため、避難経路は混乱していた。狭い道に歩行者が集中し、歩行で避難する人で渋滞が発生した。高台に到着後点呼を取り、私たちも、遅れて避難してきた小学生も全員無事であることが確認できた。津波が来ることにおびえながら、そして無事に津波から助かる方法を考えながら、さらには死にたくないという一心で、一生懸命走ったことを覚えている。幸いにして高台まで津波は来なかったが、下の方では津波が建物を飲み込む、その轟音が聞こえた。そして、地面が振動し、黒い塊のような津波が見えた。</p> <p>私たちは地域の避難所に移動した。座るスペースもないほど、避難してきた人たちでいっぱいだったが、小・中学生が避難所に到着したことを知った地域の人たちが、自分たちが外に出る代わりに私たちを体育館の中に入れてくれた。寒さに震えながら、家族とどうやら会えるのかをずっと考えながら、朝を待っていた記憶がある。</p>

(3) いのちてんでんこ

皆さんは「てんでんこ」という言葉を知っているだろうか。意味は「各自」とか「めいめい」を表す東北地方の方言だ。「命（津波）てんでんこ」と言い、津波避難の防災標語となっているところもある。「いのちてんでんこ」は「自分の命は自分で守る」ということだが、それだけではなく、「自分たちの地域は自分たちで守る」ということも含まれている。緊急時に子どもやお年寄り、病気の人などを手助けするために、その方法は各地域であらかじめ、話し合っ決めていく。つまり、この標語は、「他人を置き去りにしてでも逃げよう」ということではなく、あらかじめ互いの行動をきちんと話し合っておくことで、とっさの判断に迷ったりして、逃げ遅れるのを防ぐのが目的である。もし家族と離れている時に地震・津波が来ても、心配して探し回ったりして逃げ遅れること無く、「それぞれ」がしっかり避難し、家族を互いに信頼し合い、自分の命を守るためにまず逃げなさいという教訓だ。

学校も同じことが言えると思う。児童生徒の皆さんや先生方が怪我をしたり、命を落としたりしないために、毎年、訓練を行っている。私たちも何回も行ってきた。しっかりと避難方法を身に付け、安全に避難するようにしてほしい。そして、1分1秒を大切に、自分の命を大切にできる人間になってほしいと思う。

命より大切なものはない。どんなことがあっても逃げることを考えよう。命があればどうにでもなる。未来に向かって歩き出せる。



開催地より

東日本大震災を経験された語り部から、ご自身の被災体験と命の尊さ、大切さとともに、防災活動についてお話しいただいた。学校として、今後の安全指導、避難訓練、危機管理マニュアルの見直しについて取組みを強化していくとともに、保護者への安全教育の啓発についても積極的に取り組んでいきたい。